

関東信越厚生局長 殿

群馬大学医学部附属病院長
野 島 美 子

群馬大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 24 年度の業務
に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	47.5 人
--------	--------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照 (様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照 (様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非 常 勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	297人	286人	499.2人	看護補助者	79人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	7人	18人	21.2人	理学療法士	10人	臨床検査技師	64人
薬 剤 師	49人	9人	58.0人	作業療法士	5人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	2人	1.7人	視能訓練士	9人	その他	0人
助 産 師	23人	0人	23.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	690人	54人	731.5人	臨床工学技士	13人	医療社会事業従事者	6人
准 看 護 師	0人	1人	0.2人	栄 養 士	0人	その他の技術員	6人
歯科衛生士	2人	0人	2.0人	歯 科 技 工 士	2人	事 務 職 員	169人
管理栄養士	8人	1人	9.0人	診療放射線技師	51人	そ の 他 の 職 員	4人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	604.9 人	14.2 人	619.1 人
1日当たり平均外来患者数	1,915.1 人	89.9 人	2,005.0 人
1日当たり平均調剤数	649.1 剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	PNPLA3の遺伝子診断による非アルコール性脂肪性肝炎発症の予測評価	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 PNPLA3の遺伝子多型を測定することにより、非アルコール性脂肪性肝炎の発症・疾患重症度(炎症, 肝線維化の程度)を予測する。			
医療技術名	CYP2C19の遺伝子多型測定	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 ピロリ菌除菌前の治療効果判定でPPIの代謝に関与するCYP2C19の遺伝子多型を測定し治療効果を予測する。			
医療技術名	ITPAの遺伝子多型測定	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 C型慢性肝炎のIFN治療効果予測としてのリバビリン貧血規定遺伝子ITPAの遺伝子多型を測定し治療効果を予測する。			
医療技術名	IRRDRの変異を測定	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 C型慢性肝炎のIFN治療効果予測としてのウイルス遺伝子変異IRRDRの変異を測定し治療効果を予測する。			
医療技術名	多発性内分泌腫瘍症1型(MEN1)の遺伝カウンセリングと遺伝子診断	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 多発性内分泌腫瘍症1型が疑われる患者への遺伝カウンセリングとMEN1遺伝子変異検査および家系内で遺伝新変異が確認されている場合の保因者診断。			
医療技術名	多発性内分泌腫瘍症4型(MEN4)の遺伝カウンセリングと遺伝子診断	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 多発性内分泌腫瘍症4型が疑われる患者への遺伝カウンセリングとCDKN1B遺伝子変異検査。			
医療技術名	原発性アルドステロン症の確定診断	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 原発性アルドステロン症患者におけるKCNJ5遺伝子変異検査。			
医療技術名	家族性大腸ポリポーシスの遺伝カウンセリングと遺伝子診断	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 家族性大腸ポリポーシスが疑われる患者への遺伝カウンセリングとAPC遺伝子変異検査および家系内で遺伝子変異が確認されている場合の保因者診断。			
医療技術名	LPL欠損症に対する遺伝カウンセリングと遺伝子診断	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 LPL欠損が原因と思われる1型及び5型高脂血症が疑われる患者への遺伝カウンセリングとLPL遺伝子変異検査。			
医療技術名	再発性難治性甲状腺嚢胞に対する硬化療法	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 再発を繰り返す難治性甲状腺嚢胞へのピンバニール注入による嚢胞硬化療法。			
医療技術名	副腎皮質機能低下症のCGMを用いた病態把握	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 原発性もしくは続発性副腎皮質機能低下症の患者に持続血糖測定を行い、低血糖症の発現時期を確認する。			

医療技術名	新生児脳低温療法	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 新生児低酸素性虚血性脳症へ全身管理しながら脳低温療法を行う。			
医療技術名	新生児一酸化窒素吸入療法	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 新生児遷延性肺高血圧症に対して一酸化窒素吸入療法を含めた全身管理を行う。			
医療技術名	食道pH・インピーダンス測定	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 胃食道逆流症診断のための検査。			
医療技術名	小児に対する上部・下部内視鏡検査	取扱患者数	100人
当該医療技術の概要 危険性の高い乳幼児も対象とした、消化管の検査。			
医療技術名	小児に対する肝生検	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 麻酔を含め、合併症危険の高い乳児、幼児も対象とした生検。			
医療技術名	脳症に対する脳低温療法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 小児脳症患者へ全身管理しながら脳低温療法を行う。			
医療技術名	膵低悪性度腫瘍に対する腹腔鏡補助下肝中央区域切除	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 膵の低悪性度腫瘍に対して、腹腔鏡下に膵切除後に、小開腹下に膵・空腸吻合再建して、その治療の安全性や効果を検討する。			
医療技術名	骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に対するパズツール処理自家骨移植術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 悪性骨腫瘍切除後に残る広範な骨欠損に対して、腫瘍細胞を殺して、かつ骨再生能を温存したパズツール骨による再建術。			
医療技術名	手指および外陰部皮膚腫瘍におけるHuman papillomavirus の検出	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 皮膚腫瘍のパラフィンブロックよりDNAを抽出し、Human papillomavirus DNAをPCR法で検出する。ハイリスクHPVが検出された場合は感染予防に努める。			
医療技術名	難治性眼疾患に対する羊膜移植術	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 羊膜は、免疫学的に寛容な組織であり、他人に移植してもほとんど拒絶反応を生じないとされている。また、これまでの研究により、羊膜には、抗炎症作用、創傷治癒作用、線維化抑制作用などがあることが知られている。 これまで、難治性としてされてきた眼表面疾患は、炎症や線維化、それに伴う瘢痕癒着、あるいは拒絶反応により、たとえ手術をおこなったとしても早期に視力障害を生じて不成功に終わることも少なくなかった。 羊膜移植は、これらの問題を解決して、難治性角結膜疾患に対する手術を可能とし、術後長期にわたり患者の視力を維持ができ、また失明の予防ができるものとして、有効な治療法であるとの数々の報告がある。 以上のような根拠に基づいて、手術以外では解決不可能な難治性の角結膜疾患に対して、眼表面に羊膜を移植する手術を行うことにより、抗炎症、創傷治療、線維化抑制などが図られ、患者の視力予後の向上が期待できると考えられる。			
医療技術名	肝悪性腫瘍に対する経皮的凍結治療	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 肝細胞癌、転移性肝癌などの肝悪性腫瘍に対し、画像誘導下に経皮的凍結治療を行う。			

医療技術名	肺悪性腫瘍に対する経皮的凍結治療	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 原発性肺癌、転移性肺癌などの肺悪性腫瘍に対し、画像誘導下に経皮的凍結治療を行う。			
医療技術名	有痛性骨軟部腫瘍に対する経皮的凍結治療	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 疼痛を有する転移性骨軟部腫瘍や類骨骨腫などに対し、画像誘導下に経皮的凍結治療を行う。			
医療技術名	類骨骨腫に対する経皮的ラジオ波凝固療法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 類骨骨腫に対し、画像誘導下に経皮的ラジオ波凝固療法を行う。			
医療技術名	類骨骨腫に対する経皮的ラジオ波凝固療法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 悪性の神経内分泌腫瘍(褐色細胞腫、旁神経節腫瘍、交感神経節腫瘍、神経芽細胞腫などの神経提由来の腫瘍群)を対象として、I-131 MIBG Metaiodobenzylguanidine(MIBG)による核医学治療を行う。			
医療技術名	I-131 MIBGによる悪性神経内分泌腫瘍の核医学治療	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 悪性の神経内分泌腫瘍(褐色細胞腫、旁神経節腫瘍、交感神経節腫瘍、神経芽細胞腫などの神経提由来の腫瘍群)を対象として、I-131 MIBG Metaiodobenzylguanidine(MIBG)による核医学治療を行う。			

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	94人	・膿疱性乾癬	10人
・多発性硬化症	111人	・広範脊柱管狭窄症	1人
・重症筋無力症	145人	・原発性胆汁性肝硬変	19人
・全身性エリテマトーデス	327人	・重症急性膵炎	2人
・スモン	4人	・特発性大腿骨頭壊死症	80人
・再生不良性貧血	55人	・混合性結合組織病	34人
・サルコイドーシス	201人	・原発性免疫不全症候群	8人
・筋萎縮性側索硬化症	62人	・特発性間質性肺炎	35人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	354人	・網膜色素変性症	23人
・特発性血小板減少性紫斑病	109人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	45人	・肺動脈性肺高血圧症	7人
・潰瘍性大腸炎	164人	・神経線維腫症	18人
・大動脈炎症候群	13人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・ビュルガー病	43人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・天疱瘡	15人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	2人
・脊髄小脳変性症	66人	・ライソゾーム病	4人
・クローン病	89人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	2人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	19人	・脊髄性筋萎縮症	3人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	251人	・球脊髄性筋萎縮症	6人
・アミロイドーシス	9人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	20人
・後縦靭帯骨化症	22人	・肥大型心筋症	5人
・ハンチントン病	3人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	24人	・ミトコンドリア病	5人
・ウェゲナー肉芽腫症	24人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	9人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	59人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	32人	・黄色靭帯骨化症	2人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	7人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	171人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	8回/月
部 検 の 状 況	部検症例数 40例 / 部検率 11.30%

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
在宅医療でのICT及び遠隔診療活用に関する調査研究	酒巻 哲夫	システム統合センター	10,000,000	補委 厚生労働省
遠隔医療の更なる普及・拡大方策の検討のための調査研究	酒巻 哲夫	システム統合センター	3,240,000	補委 厚生労働省
治療抵抗性統合失調症に対する治療戦略のためのデータベース構築に関する研究	三國 雅彦	精神科神経科	10,600,000	補委 厚生労働省
ホルモン受容機構異常に関する調査研究	森 昌朋	病態制御内科学	22,770,000	補委 厚生労働省
糖尿病の一塩基多型の解析と新たなインスリン分泌調節機構の解明	村上 正巳	臨床検査医学	3,300,000	補委 日本学術振興会
前立腺癌における脂質代謝に関する研究	鈴木 和浩	泌尿器科学	3,200,000	補委 日本学術振興会
慢性腎臓病における骨・血管連関の分子メカニズムの解明と心血管リスク予測への応用	倉林 正彦	臓器病態内科学	7,500,000	補委 日本学術振興会
がんに対する重粒子線治療法高度化の為の基礎的・臨床的研究	中野 隆史	腫瘍放射線学	5,200,000	補委 日本学術振興会
INI1蛋白不活性化の有無からみた中枢神経系ラブドイド腫瘍の臨床病理学的研究	平戸 純子	病理部	500,000	補委 日本学術振興会
新規迅速遺伝子解析技術の発癌感受性遺伝子多型診断への応用	清水 公裕	第二外科	500,000	補委 日本学術振興会
食塩感受性高血圧における炎症シグナルとリンパ管再構築に対する高張性Na蓄積の意義	中村 哲也	臨床試験部	700,000	補委 日本学術振興会
ガドリニウムによる皮膚線維化・皮膚石灰化モデルマウスの作製	石川 治	皮膚科	600,000	補委 日本学術振興会
気分障害・適応障害の反復経頭蓋磁気刺激法に際する脳機能反応性の検討	青山 義之	精神科神経科	1,000,000	補委 日本学術振興会
シスプラチンによる消化管異常収縮に対する漢方の抑制効果一六君子湯とグレリン	持木 彫人	第一外科	700,000	補委 日本学術振興会
微小転移モデル確立による食道癌の転移メカニズムと各転移過程における細胞動態の解明	宮崎 達也	第一外科	500,000	補委 日本学術振興会
敗血症におけるバソプレッシン投与に対する心筋の反応性の検討	日野原 宏	集中治療部	800,000	補委 日本学術振興会
組織内エストロゲン定量による前立腺疾患リスクおよび伸展予測	柴田 康博	泌尿器科	500,000	補委 日本学術振興会
筋線維芽細胞の特性に着目した皮膚創傷治療法の開発に関する基礎的研究	安部 正敏	皮膚科	500,000	補委 日本学術振興会
心肺蘇生後脳保護における二酸化炭素の有効性に関する実験的研究	大嶋 清宏	臓器病態救急学	700,000	補委 日本学術振興会
粒子線治療時間短縮を目的とする粒子線ビーム強度高精度制御技術の開発	鳥飼 幸太	先端医学・生命科学 研究チーム	1,400,000	補委 日本学術振興会
トリプルネガティブ乳癌の発生進展とLAT1発現 分子治療の可能性	小山 徹也	病理診断学	1,200,000	補委 日本学術振興会
新しいRFIDを利用した病院業務定量化の確立	齋藤 勇一郎	第二内科	1,000,000	補委 日本学術振興会
細胞外マトリックスを使用したヒト骨髄異形成症候群特異的iPS細胞長期培養系樹立	半田 寛	第三内科	1,200,000	補委 日本学術振興会
糖尿病患者における動脈硬化進展の病期を反映する至適バイオマーカーの探索	角野 博之	検査部	700,000	補委 日本学術振興会
非アルコール性脂肪肝炎における核内受容体転写共役活性化因子PDIP1の役割	佐藤 賢	光学医療診療部	1,800,000	補委 日本学術振興会
駆出率保持性心不全発症をもたらす心血管系因子の解明と治療法への応用	新井 昌史	臓器病態内科学	900,000	補委 日本学術振興会
虚血性心疾患にともなう致死性不整脈発症の遺伝的基盤についての検討	中島 忠	第二内科	1,500,000	補委 日本学術振興会
非小細胞肺癌にてKRAS変異及びEGFR変異により誘導されるEREG発現の意義	砂長 則明	病態制御内科学	1,300,000	補委 日本学術振興会
アクチンミオシン結合蛋白トランスジェニックマウスにおける間質性肺炎の検討	古賀 康彦	第一内科	1,700,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
糸球体バリアー機能におけるチロシンリン酸化脱リン酸化経路の解析	野島 美久	生体統御内科学	1,100,000	補委 日本学術振興会
血管内皮由来因子による腎幹細胞数の制御	前嶋 明人	第三内科	1,100,000	補委 日本学術振興会
タウのリン酸化におけるプレセニリンの役割と脳脊髄液における分子機能の解析	池田 将樹	神経内科	1,300,000	補委 日本学術振興会
転写共役因子PDIP1欠損による脂質代謝異常の病態解析とPDIP1の分子機能解析	佐藤 哲郎	内分泌内科	1,100,000	補委 日本学術振興会
新たな疾患概念「潜在性中枢性甲状腺機能低下症」の確立と病態の解析	山田 正信	第一内科	1,100,000	補委 日本学術振興会
多発性内分泌腫瘍症1型の腫瘍発生メカニズムの解明	小澤 厚志	第一内科	1,100,000	補委 日本学術振興会
プロトン感受性受容体刺激のアレルギー性気道炎症と線維化へ及ぼす影響に関する研究	石塚 全	第一内科	1,300,000	補委 日本学術振興会
インスリン抵抗性が気分障害の遷延化に与える影響に関する包括的検討	成田 耕介	精神科神経科	1,200,000	補委 日本学術振興会
肺癌における血管新生阻害剤(ベバシズマブ)のバイオマーカー探索	解良 恭一	第一内科	1,900,000	補委 日本学術振興会
子宮頸癌の再発リスク分類とリスクに応じた高精度放射線治療法の開発	大野 達也	重粒子線医学推進機構	1,200,000	補委 日本学術振興会
マウス、ヒト食道のin vitro長期臓器培養法の確立	横堀 武彦	第一外科	1,300,000	補委 日本学術振興会
血管新生因子ShhによるAngiopoietin制御機構:病態モデルへの展開	藤井 孝明	第一外科	1,100,000	補委 日本学術振興会
日本人前立腺癌における全ゲノム関連解析から同定された前立腺癌責任遺伝子座群の検討	松井 博	重粒子線医学推進機構	1,200,000	補委 日本学術振興会
骨格筋における甲状腺ホルモン活性化を介して抗肥満作用を有する生理活性物質の同定	森村 匡志	検査部	1,700,000	補委 日本学術振興会
オーバル細胞増殖を介した肝再生・修復における核内受容体CARの役割	山崎 勇一	病態制御内科学	1,400,000	補委 日本学術振興会
シネミン陽性脳幹部大型ニューロンの機能解明	水野 裕司	神経内科	1,900,000	補委 日本学術振興会
多発性骨髄腫の発症・進展におけるAIDとMMSETの役割	滝沢 牧子	第三内科	3,300,000	補委 日本学術振興会
PLGA微小気泡による新しい腫瘍特異性超音波造影剤の開発	対馬 義人	放射線診断核医学	1,100,000	補委 日本学術振興会
ガドリニウムによる皮膚線維化・石灰化機序の解明	岡田 悦子	皮膚科	1,600,000	補委 日本学術振興会
放射線による抗腫瘍免疫誘導の解明と、その増強に関する基礎的・臨床的研究	鈴木 義行	腫瘍放射線学	1,800,000	補委 日本学術振興会
神経膠芽腫幹細胞を標的とした新規放射線治療法の開発	野田 真永	放射線科	1,400,000	補委 日本学術振興会
低酸素環境下でのシスプラチン抗腫瘍効果-イオンおよび細胞可視化による評価-	田中 成岳	第一外科	800,000	補委 日本学術振興会
未破裂脳動脈瘤のリスクと心理的ストレスによる生活の質低下の定量化	好本 裕平	脳神経外科学	1,600,000	補委 日本学術振興会
敗血症における中枢神経障害でのRAGEとHMGB-1の関与と治療法の確立	門井 雄司	手術部	1,900,000	補委 日本学術振興会
心臓におけるグルコース代謝亢進は重症敗血症の心機能と生命予後を改善する	國元 文生	集中治療部	1,400,000	補委 日本学術振興会
TGF-β / Smad3シグナル伝達経路をターゲットとした新創傷治療法の開発	横尾 聡	顎口腔科学	1,000,000	補委 日本学術振興会
妊娠率向上のための子宮におけるLH/hCG作用の解明	峯岸 敬	産科婦人科学	800,000	補委 日本学術振興会
最新3D-CT画像と重粒子線を用いた高精度神経ブロック法の開発	齋藤 繁	麻酔神経科学	500,000	補委 日本学術振興会
早産の分子メカニズムとその予防について	木暮 圭子	産科婦人科	800,000	補委 日本学術振興会
活性型Alu検出によるゲノム動的地図の作成	山田 思郎	小児科	1,600,000	補委 日本学術振興会
乳児・新生児に適用可能な非侵襲的薬物濃度モニタリング技術の開発	山本 康次郎	臨床薬理学	1,200,000	補委 日本学術振興会
アレルギー病態理解と新規治療法開発に向けたリンパ球刺激試験法の改良	荒川 浩一	小児科学	1,000,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
脳エネルギー代謝と行動の制御における毛細血管内皮細胞PPARガンマの役割の解明	関 亮太郎	第二内科	1,200,000	補委	日本学術振興会
医療用Si/CdTeコンプトンカメラの計測の高度化と高速化に関する基礎的研究	中野 隆史	腫瘍放射線学	1,600,000	補委	日本学術振興会
青斑核を活性化する薬剤とその機序-下行性抑制系の強化による神経障害性疼痛の治療-	小幡 英章	麻酔神経科学	1,400,000	補委	日本学術振興会
神経変性疾患に対するリハビリテーション効果と高次脳機能障害との関連に関する研究	宗宮 真	リハビリテーション部	200,000	補委	日本学術振興会
非アルコール性脂肪性肝炎における細胞特異的なSTAT3の役割	堀口 昇男	第一内科	500,000	補委	日本学術振興会
CTガイド分子標的疼痛治療の開発:高周波熱凝固と栄養因子修飾による可塑性制御	肥塚 史郎	麻酔科蘇生科	800,000	補委	日本学術振興会
心腎連関におけるNotchシグナル及びFGF23の役割の解明	中原 健裕	第二内科	1,500,000	補委	日本学術振興会
TGF-β1による糸球体上皮細胞障害とWT1の発現制御について	坂入 徹	第三内科	1,500,000	補委	日本学術振興会
乳児期を中心とした小児急性白血病と骨髄異形成症候群における新規原因遺伝子の解析	柴 徳生	小児科	1,000,000	補委	日本学術振興会
放射線治療による腫瘍特異的免疫の活性化に関する研究	吉本 由哉	放射線科	1,500,000	補委	日本学術振興会
放射線照射で誘導される骨髄細胞と小脳神経細胞融合の生理学的意義の解明	神沼 拓也	重粒子線医学推進機構	1,500,000	補委	日本学術振興会
放射線治療の種類による患者QOLの違いについて～正確なQOL評価を目指して～	加藤 弘之	重粒子線医学推進機構	1,200,000	補委	日本学術振興会
四次元治療計画による呼吸性移動腫瘍の高精度重粒子線治療に関する研究	田代 陸	重粒子線医学推進機構	800,000	補委	日本学術振興会
GABA作動性ニューロンの可視化による成長期の脳神経回路構築への麻酔薬の影響	久保 和宏	麻酔科蘇生科	700,000	補委	日本学術振興会
卵巣機能と脂質代謝の関連についての基礎的研究	池田 禎智	周産母子センター	1,200,000	補委	日本学術振興会
内耳障害における有毛細胞間酸化シグナル伝達異常の解明	村田 考啓	耳鼻咽喉科	700,000	補委	日本学術振興会
循環不全モデルにおける脳幹前庭神経細胞の発火特性変化の解明	高安 幸弘	耳鼻咽喉科	700,000	補委	日本学術振興会
粒子線薬剤増感による低侵襲粒子線がん治療法の研究	島田 博文	重粒子線医学推進機構	1,300,000	補委	日本学術振興会
iPS細胞を用いたリアルタイム培養細胞解析装置による分子標的薬の血小板減少解析	坂下 真大	薬剤部	2,200,000	補委	日本学術振興会
ガドリニウムによる皮膚線維化・石灰化機序の解明	山田 和哉	皮膚科	1,400,000	補委	日本学術振興会
核内受容体転写共役因子PDIP1の脂肪細胞における役割の解明	登丸 琢也	第一内科	1,600,000	補委	日本学術振興会
神経性食思不振症に対するオキシトシンの効果-NIRSによる検討-	武井 雄一	精神科神経科	1,000,000	補委	日本学術振興会
死後画像検査(オートプシー・イメージング)における安価な造影検査方法の確立	栗田 さち子	核医学科	1,000,000	補委	日本学術振興会
炭素イオン線による悪性脳腫瘍の走行性とその分子機構の解明	吉田 由香里	重粒子線医学推進機構	1,800,000	補委	日本学術振興会
低酸素腫瘍に対するX線・重粒子線感受性の分子生物学的機構の解明に関する基礎的研究	齋藤 淳一	腫瘍放射線学	1,400,000	補委	日本学術振興会
神経膠芽腫における放射線誘導HIF-1αのメカニズムと放射線抵抗性に関する探索	白井 克幸	重粒子線医学推進機構	1,300,000	補委	日本学術振興会
肺腺癌におけるアロマターゼの発現とその意義についての検討	田中 和美	第二外科	1,300,000	補委	日本学術振興会
脊髄マイクログリアにおいて術後痛の程度を反映する分子生物学的マーカーの同定	三枝 里江	麻酔科蘇生科	1,100,000	補委	日本学術振興会
麻酔薬による発達期脳障害と塩素イオン濃度の関係解明:徐放製剤による新規アプローチ	伊東 幸日子	麻酔科蘇生科	1,100,000	補委	日本学術振興会
徐放化鎮痛薬の開発ならびに疼痛治療への応用	戸部 賢	麻酔科蘇生科	1,100,000	補委	日本学術振興会
神経障害性疼痛における下行性抑制系の経時的变化と抗うつ薬の鎮痛効力の比較	中島 邦枝	麻酔科蘇生科	1,100,000	補委	日本学術振興会
虚血に対する内側前庭神経核ニューロンの一過性過分極メカニズム	紫野 正人	耳鼻咽喉科	2,400,000	補委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
Autophagyによる抗原提示を用いた頭頸部癌ワクチン療法の開発	坂倉 浩一	耳鼻咽喉科	1,700,000	補委 日本学術振興会
ドラッグデリバリーシステムを利用した疼痛治療用徐放薬の作成	鈴木 敏之	麻酔科蘇生科	1,000,000	補委 日本学術振興会
LC-MS/MSを用いたリウマチ治療に用いる抗体医薬品の血中濃度測定法の確立	中村 浩規	薬剤部	600,000	補委 日本学術振興会
タクロリムスにおける体内動態の性差及び年齢差に対する性ホルモンの影響	伊藤 彩乃	薬剤部	600,000	補委 日本学術振興会
GLCCI1遺伝子多型解析を用いた統一吸入指導箋による呼吸機能の改善に関する研究	小野 理恵	薬剤部	600,000	補委 日本学術振興会
筋萎縮性索硬化症等神経難病患者及び家族に対する療養支援体制の整備と、医療ネットワーク及び地域支援ネットワーク構築に関する研究	岡本 幸市	神経内科	4,358,000	補委 群馬県
難病患者及び家族に対する相談体制の整備と支援体制に関する研究	岡本 幸市	神経内科	6,626,000	補委 群馬県
難聴児の会社適応性に関する研究	近松 一朗	耳鼻咽喉科	1,440,000	補委 群馬県
統合失調症治療のガイドラインの作成とその検証に関する研究	福田 正人	精神科神経科	3,000,000	補委 国立精神・神経センター
精神疾患の鑑別診断および転帰の予測における近赤外線スペクトロスコピー(NIRS)の有用性に関する研究	福田 正人	精神科神経科	1,500,000	補委 国立精神・神経センター
COPD増悪モデルの作出とGAG分子薬の個体レベルでの薬効評価に関する研究	前野 敏孝	第二内科	2,500,000	補委 独立行政法人医薬基盤研究所
在宅高齢者の服薬忘れの改善と見守りを目的とした服薬	鈴木 亮二	医療情報部	525,200	補委 独立行政法人科学技術振興機構
皮膚創傷治療に対する新たな治療法の開発	茂木 精一郎	皮膚科	910,000	補委 独立行政法人科学技術振興機構
中枢神経における細胞核構造とクロマチンダイナミクスの解析	滝沢 琢己	小児科	5,000,000	補委 独立行政法人科学技術振興機構
金属錯体を発光プローブとするヒトの低酸素病態イメージングプロジェクト	秋山 英雄	眼科	2,400,000	補委 独立行政法人科学技術振興機構
NCGG方式の統合的高齢者褥瘡、皮膚潰瘍に関する学問体系の発展とそれらを基盤としたチーム医療体制の提唱	永井 弥生	皮膚科	600,000	補委 独立行政法人国立長寿医療研究センター
虚血性心疾患における心電図同期SPECT(QGS)検査に関する国内臨床データベース作成のための調査研究	倉林 正彦	第二内科	105,000	補委 公益財団法人循環器病研究振興財団
細胞機能制御に基づく循環器疾患の創薬基盤研究、血管平滑筋細胞の形質変換の制御機構の解析	倉林 正彦	第二内科	1,500,000	補委 独立行政法人国立循環器病研究センター
拠点病院の日常診療データベースから新しい臨床仮説を創出するための研究/局所進行前立腺がんに対する内分泌療法・放射線療法併用の意義に関する研究	伊藤 一人	泌尿器科	1,300,000	補委 国立がん研究センター
高感受性悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究/リンパ系腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	塚本 憲史	腫瘍センター	1,000,000	補委 国立がん研究センター
うつ病の異種性に対応したストレス脆弱性バイオマーカーの同定と分子病態生理の解明(脳プロ)	三國 雅彦	精神科神経科	32,560,000	補委 文部科学省

小計 21
合計 114

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Gastroenterology.	What is this in the orifice of the appendix vermiformis?	Iizuka H, Kakizaki S, Onozato Y	第一内科
Hepatol Res.	Response-guided peginterferon-alpha-2b plus ribavirin therapy for chronic hepatitis C patients with genotype 2 and high viral loads.	Sato K, Hashizume H, Yamazaki Y, Horiguchi N, Kakizaki S, Takagi H, Mori M; Gunma Liver Study Group.	第一内科
Toxicol Lett.	Ligand dependent hepatic gene expression profiles of nuclear receptors CAR and PXR.	Tojima H, Kakizaki S, Yamazaki Y, Takizawa D, Horiguchi N, Sato K, Mori M.	第一内科
J Gastroenterol Hepatol.	Functional gastrointestinal disorders in adolescents and quality of school life.	Sagawa T, Okamura S, Kakizaki S, Zhang Y, Morita K, Mori M.	第一内科
World J Gastroenterol.	Analysis of colonoscopic perforations at a local clinic and a tertiary hospital.	Sagawa T, Kakizaki S, Iizuka H, Onozato Y, Sohara N, Okamura S, Mori M.	第一内科
Anticancer Res	Gefitinib and gemcitabine coordinately inhibited the proliferation of cholangiocarcinoma cells.	Nakajima Y, Takagi H, Kakizaki S, Horiguchi N, Sato K, Sunaga N, Mori M.	第一内科
World J Gastroenterol.	Can endoscopic submucosal dissection be safely performed in a smaller specialized clinic?	Sohara N, Hagiwara S, Arai R, Iizuka H, Onozato Y, Kakizaki S.	第一内科
Acta Med Okayama.	A prospective study of long-term outcomes in female patients with nonalcoholic steatohepatitis using age- and body mass index-matched cohorts.	Hashizume H, Sato K, Yamazaki Y, Horiguchi N, Kakizaki S, Mori M.	第一内科
Anticancer Res.	Hepatocyte growth factor promotes lung carcinogenesis in transgenic mice treated with diethylnitrosamine.	Kojima A, Horiguchi N, Kakizaki S, Takayama H, Mori M.	第一内科
Gastroenterol Res Pract.	Incidence, mortality, and predictive factors of hepatocellular carcinoma in primary biliary cirrhosis.	Hosonuma K, Sato K, Yanagisawa M, Kakizaki S, Takagi H, Hirato J, Mori M.	第一内科
Lab Invest.	Transforming growth factor- α activates pancreatic stellate cells and may be involved in matrix metalloproteinase-1 upregulation.	Tahara H, Sato K, Yamazaki Y, Ohyama T, Horiguchi N, Hashizume H, Kakizaki S, Takagi H, Ozaki I, Arai H, Hirato J, Jesenofsky R, Masamune	第一内科
Front Physiol.	Cytokines and STATs in Liver Fibrosis.	Kong X, Horiguchi N, Mori M, Gao B.	第一内科
Protein Pept. Lett.	Secreted Nucleobindin-2 inhibits 3T3-L1 adipocyte differentiation.	Yuko Tagaya, Aya Osaki, Atsuko Miura, Shuichi Okada等	第一内科
Endocrinology	Nucleobindin-2 is a positive modulator of EGF-dependent signals leading to enhancement of cell growth and suppression of adipocyte differentiation.	Yuko Tagaya, Atsuko Miura, Shuichi Okada等	第一内科
PLoS One	Syntaxin4 interacting protein (Synip) binds phosphatidylinositol (3,4,5) triphosphate.	Tsugumichi Saito, Shuichi Okada等	第一内科
Diabetic Medicine	Elevated 1 hour plasma glucose following 75-g oral glucose load is a predictor of arterial stiffness in normal glucose tolerance subjects.	Katsura Nijima, Yushin Muranaka, Toshiaki Ando, Shuichi Okada等	第一内科
Int J Cancer	Oncogenic KRAS-induced interleukin-8 overexpression promotes cell growth and migration and contributes to aggressive phenotypes of non-small cell lung cancer.	Noria ki Sunaga	第一内科
Br J Cancer	Prognostic significance of L-type amino-acid transporter 1 expression in surgically resected pancreatic cancer.	Kaira K	第一内科
Oncogene	Oncogenic KRAS-induced epiregulin overexpression contributes to aggressive phenotype and is a promising therapeutic target in non-small-cell lung cancer.	Noria ki Sunaga	第一内科
Pathol Oncol Re	Clinicopathological Significance of L-type Amino Acid Transporter 1 (LAT1) Expression in Patients with Adenoid Cystic Carcinoma.	Kaira K	第一内科
Surgical Practice	Clinical Features of Patients with Invasive Thymoma: A retrospective analysis of 61 Cases	Imai H	第一内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Clin Endocrinol Metab.	Subclinical hypothyroidism and indices for metabolic syndrome in Japanese women: one-year follow-up study.	中島康代	第一内科
Endocr J.	KCNJ5 mutations in aldosterone- and cortisol-co-secreting adrenal adenomas	山田正信	第一内科
J Clin Endocrinol Metab.	Expression and mutations of KCNJ5 mRNA in Japanese patients with aldosterone-producing	山田正信	第一内科
Aliment Pharmacol Ther (36)	Monosodium glutamate stimulates secretion of glucagon-like peptide-1 and reduces postprandial glucose after a lipid-containing meal.	保坂浩子	第一内科
Neurogastroenterol Motil (24)	Cascade stomach is associated with upper gastrointestinal symptoms: a population-based study.	草野元康	光学医療診療部
Digestion (85)	Response to gastroesophageal reflux disease therapy : assessment at 4 weeks predicts response/non-response at 8 weeks.	草野元康	光学医療診療部
J Gastroenterol Hepatol (27)	Development and evaluation of a modified Frequency Scale for the Symptoms of Gastroesophageal Reflux Disease to distinguish functional dyspepsia from non-erosive reflux disease	草野元康	光学医療診療部
Digestive Endoscopy (24)	Clinical symptoms of FSSG in gastroesophageal reflux disease are critical for PPI treatment: Japanese multi-centers with 185 patients.	草野元康	光学医療診療部
Gastroenterol Research and Practice	Clinical significance of peripheral blood T lymphocyte subjects in Helicobacter pylori-infected patients.	草野元康	光学医療診療部
J Gastroenterol Hepatol (27)	Symptoms and quality of life in underweight gastroesophageal reflux disease patients and therapeutic responses to proton pump inhibitors.	草野元康	光学医療診療部
J Gastroenterol (47)	Rikkunshito improves symptoms in PPI-refractory GERD patients: a prospective, randomized, multicenter trial in Japan	草野元康	光学医療診療部
J Clin Biochem Nutr (50)	Different gastroesophageal reflux symptoms of middle-aged to elderly asthma and obstructive pulmonary disease (COPD) patients	草野元康	光学医療診療部
J Gastroenterol Hepatol (27)	A large-scale, randomized clinical study on functional dyspepsia treatment with mosapride or teprenone: Japan Mosapride Mega-Study(JMMS)	草野元康	光学医療診療部
J Gastroenterol(47)	Combination of angiotensin II receptor blockers promotes proton pump inhibitor-based healing of reflux esophagitis.	草野元康	光学医療診療部
J Cardiovasc Electrophysiol.	Polymorphism of Ventricular Tachycardia due to Variable Exit from a Single Arrhythmogenic Focus in the Right Ventricular Outflow Tract.	金古善明	第二内科
Circ J.	Compound and digenic heterozygosity in desmosome genes as a cause of arrhythmogenic right ventricular cardiomyopathy in Japanese patients.	中島 忠	第二内科
Pacing Clin Electrophysiol	Inappropriate therapy delivered by a CRT-D for tachycardia with simultaneous atrial and ventricular activation: what is the tachycardia?	金古善明	第二内科
J Atheroscler Thromb.	Runx2/Smad3 complex negatively regulates TGF- β 1-induced connective tissue growth factor gene expression in vascular smooth muscle cells.	大山善昭	第二内科
Circ J.	KCNE3 T4A as the genetic basis of Brugada-pattern electrocardiogram.	中島 忠	第二内科
Cardiol J.	Characteristics of systolic and diastolic potentials recorded in the left interventricular septum in verapamil-sensitive left ventricular tachycardia.	金古善明	第二内科
Atherosclerosis.	Prevalence and risk factors for cerebral infarction and carotid artery stenosis in peripheral arterial disease.	新木義弘	第二内科
J Cardiovasc Electrophysiol.	Regular atrial tachyarrhythmia with double coronary sinus potentials: what is the diagnosis?	金古善明	第二内科
PLoS One.	Stearoyl-CoA desaturase-1 (SCD1) augments saturated fatty acid-induced lipid accumulation and inhibits apoptosis in cardiac myocytes.	松井弘樹	第二内科
Int J Cardiol.	Marked lipomatous hypertrophy of the right ventricular wall: a distinct clinicopathological entity from arrhythmogenic right ventricular cardiomyopathy?	中島 忠	第二内科
J Psychiat Res	Temporal lobe and inferior frontal gyrus dysfunction in patients with schizophrenia during face-to-face conversation: a near-infrared spectroscopy study.	Takei Y, Suda M, Aoyama Y, Yamaguchi M, Sakurai N, Narita K, Fukuda M, Mikuni M	精神科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
NeuroImage	A NIRS-fMIR investigation of prefrontal cortex activity during a working memory task.	Sato H, Yahata N, Funane T, Takizawa R, Katura T, Atsumori H, Nishimura Y, Kinoshita A, Kiguchi M, Koizumi H, Fukuda M, Kasai K	精神科
NeuroImage	Neuroimaging-aided differential diagnosis of the depressive state.	Takizawa R, Fukuda M, Kawasaki S, Kasai K, Mimura M, Pu S, Noda T, Niwa S, Okazaki Y, the Joint Project for Psychiatric Application of	精神科
NeuroImage [DOI:10.1016/j.neuroimage.2013.04.050]	Functional abnormalities in the left ventrolateral prefrontal cortex during a semantic fluency task, and their association with thought disorder in patients with schizophrenia.	Marumo K, Takizawa R, Kinou M, Kawasaki S, Kawakubo Y, Fukuda M, Kasai K	精神科
Hum Brain Mapp 33:2211-23. [DOI:10.1002/hbm.21354]	Associations among parenting experiences during childhood and adolescence, hypothalamus-pituitary-adrenal axis hypoactivity, and hippocampal gray matter volume reduction in young adults.	Narita K, Fujihira K, Takei Y, Suda M, Aoyama Y, Uehara T, Majima T, Kosaka H, Amanuma M, Fukuda M, Mikuni M	精神科
Psychiat Clin Neurosci 66:276-284 [doi:10.1111/j.1440-1819.2012.02349.x]	Differential relationships between personality and brain function in monetary and goal-oriented subjective motivation: multichannel near-infrared spectroscopy study of healthy subjects.	Sato T, Fukuda M, Kameyama M, Suda M, Uehara T, Mikuni M	精神科
Blood. 15;119(11):2612-4. 2012.	CBL mutation in chronic myelomonocytic leukemia secondary to familial platelet disorder with propensity to develop acute myeloid leukemia (FPD/AML).	Shiba N, Hasegawa D, Park MJ, Murata C, Matsubara A, Ogawa C, Manabe A, Arakawa H, Ogawa S, Hayashi Y.	小児科
Br J Haematol. 156(3):413-414. 2012.	DNMT3A mutations are rare in childhood acute myeloid leukaemia, myelodysplastic syndromes and juvenile myelomonocytic leukaemia.	Shiba N, Taki T, Park MJ, Shimada A, Sotomatsu M, Adachi S, Tawa A, Horibe K, Tsuchida M, Hanada R, Tsukimoto I, Arakawa H,	小児科
Eur J Cardiothorac Surg. 41(2):277-82. 2012	Aortic stiffness and aortic dilation in infants and children with tetralogy of Fallot before corrective surgery: evidence for intrinsically abnormal aortic mechanical property.	Seki M, Kurishima C, Kawasaki H, Masutani S, Senzaki H.	小児科
Inflammation. 35(3):952-8. 2012	Regulation of oxidative stress in patients with Kawasaki disease.	Sekine K, Mochizuki H, Inoue Y, Kobayashi T, Suganuma E, Matsuda S, Arakawa H.	小児科
Lancet. 379:1613-1620. 2012	Efficacy of immunoglobulin plus prednisolone for prevention of coronary artery abnormalities in severe Kawasaki disease (RAISE study): a randomised, open-label, blinded-endpoints trial.	Kobayashi T, Saji T, Otani T, Takeuchi K, Nakamura T, Arakawa H, Kato T, Hara T, Hamaoka K, Ogawa S, Miura M, Nomura Y,	小児科
Allergy. 67(8):976-97. 2012	International consensus on (ICON) pediatric asthma.	N. G. Papadopoulos, H. Arakawa, K.-H. Carlsen, A. Custovic, J. Gern, R. Lemanske, P. Le Souef, M. Mäkelä, G. Roberts, G. Wong, H. Zar, C. A.	小児科
Pediatr Nephrol. 27(12):2233-41. 2012	DNA methylation changes between relapse and remission of minimal change nephrotic syndrome.	Kobayashi Y, Aizawa A, Takizawa T, Yoshizawa C, Horiguchi H, Ikeuchi Y, Kakegawa S, Watanabe T, Maruyama K, Morikawa A, Hatada I,	小児科
Clinical & Experimental Allergy Reviews, 12, 20-24 2012	Characteristics and natural course of neonatal and infantile gastrointestinal milk allergy and the efficacy of oral immunotherapy.	Arakawa H, Yagi H, Koyama H, Nakajima N, Takizawa T.	小児科
Nature Genetics. 44(5):517-21. 2012	A genome-wide association study identifies three new risk loci for Kawasaki disease.	Onouchi Y, Ozaki K, Burns JC, Shimizu C, Terai M, Hamada H, Honda T, Suzuki H, Suenaga T, Takeuchi T, Yoshikawa N, Suzuki Y,	小児科
Case Rep Gastroenterol. 6(2): 260-5, 2012	Successful surgical treatment of a spontaneous rupture of the esophagus diagnosed two days after onset.	Ando H, Shitara Y, Hagiwara K, Hara K, Mogami Y, Kobayashi T, Yajima T, Tani M, Morinaga N, Ishizaki M, Kuwano H	第一外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
International Journal of Case Reports and Images (IJCRI). 3(10), ISSN-[0976-3198], 2012. (Online Published Only)	Double axillary vein: A case detected by CT.	Fujii T, Yajima R, Yamaguchi S, Tsutsumi S, Asao T, Kuwano H	第一外科
Nutr Cancer. 64: 1169-1173, 2012	Serum albumin is superior to prealbumin for predicting short-term recurrence in patients with operable colorectal cancer.	Fujii T, Sutoh T, Morita H, Katoh T, Yajima R, Tsutsumi S, Asao T, Kuwano H	第一外科
Am Surg. 78(9): E441-2, 2012	Emphysematous cystitis after surgery for rectal cancer.	Fujii T, Sutoh T, Morita H, Katoh T, Yajima R, Yamaguchi S, Tsutsumi S, Asao T, Kuwano H	第一外科
Am Surg. 78(2): 62-3, 2012	Perianal abscess and sigmoidocutaneous fistula due to diverticulitis.	Fujii T, Sutoh T, Morita H, Katoh T, Yajima R, Yamaguchi S, Tsutsumi S, Asao T, Kuwano H	第一外科
Int Surg. 97(2): 99-103, 2012	Could the eZ-SCOPE AN Gamma Camera Replace Intraoperative Measurement of iPTH for PHPT?	Fujii T, Yajima R, Yamaguchi S, Tsutsumi S, Asao T, Kuwano H	第一外科
Am Surg. 78(1): 141-3, 2012	Is it possible to predict malignancy in cases with focal thyroid incidentaloma identified by 18F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography?	Fujii T, Yajima R, Yamaguchi S, Tsutsumi S, Asao T, Kuwano H	第一外科
Int Surg. 97(4): 281-4, 2012	Pulmonary metastasis from breast cancer with an 18-year disease-free interval: implication of the role of surgery.	Fujii T, Yajima R, Yamaki E, Kohsaka T, Yamaguchi S, Tsutsumi S, Mogi A, Asao T, Kuwano H	第一外科
Am Surg. 78(9): 933-5, 2012	Accurate assessment of breast volume by computed tomography using three-dimensional imaging device.	Fujii T, Yamaguchi S, Yajima R, Tsutsumi S, Asao T, Kuwano H	第一外科
Int Surg. 97(3): 235-8, 2012	Torsion of the gallbladder diagnosed by magnetic resonance cholangiopancreatography.	Fukuchi M, Nakazato K, Shoji H, Naitoh H, Kuwano H	第一外科
Clin J Gastroenterol. 5: 367-371, 2012	Eleven metachronous early gastric cancers in an elderly woman.	Fukuchi M, Sakurai S, Tsukagoshi R, Suzuki M, Yamauchi H, Tabe Y, Fukasawa T, Kiriyaama S, Naitoh H, Kuwano H	第一外科
Case Rep Gastroenterol. 6(1): 88-93, 2012	Adult Intussusception Caused by Descending Colon Cancer during Chemotherapy of Stomach Cancer Recurrence.	Fukuchi M, Tsukagoshi R, Sakurai S, Suzuki M, Naitoh H, Yamauchi H, Tabe Y, Fukasawa T, Kiriyaama S, Kuwano H	第一外科
Esophagus. 9: 25-28, 2012	Two Japanese patients with esophageal eosinophilia detected by routine medical examination.	Fukuchi M, Sakurai S, Fukasawa T, Suzuki M, Naitoh H, Tabe Y, Kiriyaama S, Horiuchi K, Yuasa K, Kuwano H	第一外科
Digestion. 85: 85-89, 2012	Management and pathophysiology of functional gastrointestinal disorders.	Fukudo S, Kuwano H, Miwa H	第一外科
Ann Surg Oncol. Suppl 3:589-96, 2012	TNFAIP8 Overexpression: Clinical Relevance to Esophageal Squamous Cell Carcinoma.	Hadisaputri YE, Miyazaki T, Suzuki S, Yokobori T, Kobayashi T, Tanaka N, Inose T, Sohda M, Kuwano H	第一外科
Int Surg. 97(2):169-76, 2012	A prospective randomized study to assess the optimal duration of intravenous antimicrobial prophylaxis in elective gastric cancer surgery.	Haga N, Ishida H, Ishiguro T, Kumamoto K, Ishibashi K, Tsuji Y, Miyazaki T	第一外科
Ann Surg Oncol. 19(11):3506-14, 2012	Keratin 17 expression correlates with tumor progression and poor prognosis in gastric adenocarcinoma.	Ide M, Kato T, Ogata K, Mochiki E, Kuwano H, Oyama T	第一外科
Asian J Surg 35: 81-87, 2012	Usefulness of sennoside as an agent for mechanical bowel preparation prior to elective colon cancer surgery.	Ishibashi K, Kumamoto K, Kuwabara K, Hokama N, Ishiguro T, Ohsawa T, Okada N, Miyazaki T, Yokoyama M, Tsuji Y, Haga N, Ishida H	第一外科
Diagn Ther Endosc. 2012: 596303, 2012	Detectability of colon polyp using computed virtual chromoendoscopy with flexible spectral imaging color enhancement.	Kiriyaama S, Matsuda T, Nakajima T, Sakamoto T, Saito Y, Kuwano H	第一外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Endoscopy. 44(11): 1024-30, 2012	Comparison of endoscopic submucosal dissection with laparoscopic-assisted colorectal surgery for early-stage colorectal cancer: a retrospective analysis.	Kiriyama S, Saito Y, Yamamoto S, Soetikno R, Matsuda T, Nakajima T, Kuwano H	第一外科
Int Surg. 97(3): 230-4, 2012	A Case of Hepatocellular Carcinoma With Portal Vein Tumor Thrombosis Successfully Treated by a Combination of Intra-Arterial Infusion 5-Fluorouracil, Cisplatin, and Systemic Interferon- α	Kobayashi T, Suzuki H, Kubo N, Watanabe A, Sasaki S, Wada W, Araki K, Shimura T, Kuwano H	第一外科
Int Surg. 97(2): 145-9, 2012	Usefulness of Steroid Administration for Diagnosis of IgG4-Related Sclerosing Cholangitis.	Kubo N, Suzuki H, Kobayashi T, Araki K, Sasaki S, Wada W, Kuwano H	第一外科
Gen Thorac Cardiovasc Surg. 60(10): 680-708, 2012	Thoracic and cardiovascular surgery in Japan during 2010 : Annual report by The Japanese Association for Thoracic Surgery.	Kuwano H, Amano J, Yokomise H	第一外科
Esophagus. 9: 118-126, 2012	Treatment for esophageal malignant tumor without squamous cell carcinoma.	Miyazaki T	第一外科
J Surg Res. 176(1): 74-8, 2012	Ghrelin Level and Body Weight Loss After Esophagectomy for Esophageal Cancer.	Miyazaki T, Tanaka N, Hirai H, Yokobori T, Sano A, Sakai M, Inose T, Sohda M, Nakajima M, Fukuchi M, Kato H, Kuwano H	第一外科
Br J Cancer. 107(1): 31-6, 2012	Phase II multi-institutional prospective randomised trial comparing S-1+paclitaxel with S-1+cisplatin in patients with unresectable and/or recurrent advanced gastric cancer.	Mochiki E, Ogata K, Ohno T, Toyomasu Y, Haga N, Fukai Y, Aihara R, Ando H, Uchida N, Asao T, Kuwano H, North Kanto Gastric	第一外科
Gen Thorac Cardiovasc Surg. 60(4): 233-6, 2012.	Surgical resection and reconstruction for a giant cell tumor of the anterior rib.	Mogi A, Kosaka T, Yamaki E, Hirato J, Kuwano H	第一外科
Neurogastroenterol Motil. 24(1): 86-93, e14, 2012	Effects of denervation at ileocecal junction and ileocecal resection in dogs.	Morita H, Mochiki E, Ogawa A, Yanai M, Toyomasu Y, Tabe Y, Ohno T, Tsutsumi S, Asao T, Kuwano H	第一外科
Ann Thorac Surg. 94(4): 1114-7, 2012	Gastric motor activity in gastric pull-up esophagectomized patients with and without reflux symptoms.	Nakabayashi T, Mochiki E, Kamiyama Y, Kuwano H	第一外科
Am J Physiol Regul Integr Comp Physiol. 302(2): R233-41, 2012	Interdigestive migrating contractions are coregulated by ghrelin and motilin in conscious dogs.	Ogawa A, Mochiki E, Yanai M, Morita H, Toyomasu Y, Ogata K, Ohno T, Asao T, Kuwano H	第一外科
BMJ Case Rep. doi: 10.1136/bcr-2012-006248, 2012. (Online Published Only)	Asymptomatic spontaneous cervical and mediastinal emphysema.	Ojima H, Fukai Y, Soda M, Kuwano H	第一外科
Ann Surg Oncol. 19(3): 597-607, 2012	Tumor-Associated Antigen Expressing Listeria monocytogenes Induces Effective Primary and Memory T-Cell Responses Against Hepatic Colorectal Cancer Metastases.	Olino K, Wada S, Edil BH, Pan X, Meckel K, Weber W, Slansky J, Tamada K, Lauer P, Brockstedt D, Pardoll D, Schulick R, Yoshimura K	第一外科
J. Electrochem. Soc. 159(1): A49-A54, 2012	Improvement of the Reversible Capacity of TiO ₂ (B) High Potential Negative Electrode	Saito M, Murota Y, Takagi M, Tajima M, Asao T, Inoue H, Tasaka A, Inaba M	第一外科
Ann Surg Oncol. 19(6): 1911-7, 2012	Significance of lymph node capsular invasion in esophageal squamous cell carcinoma.	Sakai M, Suzuki S, Sano A, Tanaka N, Inose T, Sohda M, Nakajima M, Miyazaki T, Kuwano H	第一外科
Gen Thorac Cardiovasc Surg. 60(10): 625-38, 2012	Hospital volume and outcomes of cardiothoracic surgery in Japan: 2005-2009 national survey.	Sakata R, Kuwano H, Yokomise H	第一外科
Hepatogastroenterology. 59(115): 903-6, 2012	Description of pylorus-preserving pancreaticoduodenectomy in elderly patients.	Shimura T, Morinaga N, Suzuki H, Araki K, Kobayashi T, Koyama Y, Yashima R, Shibata M, Takenoshita S, Kuwano H	第一外科
Oncol Lett. 3(2): 287-292, 2012	Early evaluation of the apoptotic index ratio is useful in predicting the efficacy of chemoradiotherapy in esophageal squamous cell carcinoma.	Sobajima J, Kumamoto K, Haga N, Tamaru J, Takahashi T, Miyazaki T, Ishida H	第一外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Transplant Proc. 44(2): 384-8, 2012	High model for end-stage liver disease score as a predictor of survival during long-term follow up after liver transplantation.	Suzuki H, Bartlett AS, Muiesan P, Jassem W, Rela M, Heaton N	第一外科
Oncol Rep. 28(2): 465-72, 2012	CD47 expression regulated by tumor suppressor miR-133a is a novel prognostic marker in esophageal squamous cell carcinoma.	Suzuki S, Yokobori T, Tanaka N, Sakai M, Sano A, Inose T, Sohda M, Nakajima M, Miyazaki T, Kato H, Kuwano H	第一外科
Pediatr Int. 54(4): 491-5, 2012	Outcomes of herniotomy in premature infants: recent 10 year experience.	Takahashi A, Toki F, Yamamoto H, Otake S, Oki Y, Kuwano H	第一外科
Case Rep Surg. 2012: 247348, 2012	Primary malignant melanoma of the rectum: report of two cases.	Tomioka K, Ojima H, Sohda M, Tanabe A, Fukai Y, Sano A, Fukuda T, Murakami M	第一外科
Hepatogastroenterology. 59(116): 1079-1080, 2012	Central venous port system-related complications in outpatient chemotherapy for colorectal cancer.	Tsutsumi S, Fukasawa T, Fujii T, Tabe Y, Kigure W, Asao T, Kuwano H	第一外科
Oncology. 83(3): 151-7, 2012	Phase II trial of chemotherapy plus bevacizumab as second-line therapy for patients with metastatic colorectal cancer that progressed on bevacizumab with chemotherapy: the Gunma Clinical Oncology Group (GCOG) trial 001 SILK study.	Tsutsumi S, Ishibashi K, Uchida N, Ojima H, Hosouchi Y, Yashuca N, Kigure W, Yamaguchi S, Asao T, Ishida H, Kuwano H	第一外科
Hepatogastroenterology. 59(113): 101-103, 2012	Feasibility of solo laparoscopic colorectal resection.	Tsutsumi S, Watanabe R, Tabe Y, Fujii T, Morita H, Kigure W, Kato T, Yamauchi H, Asao T, Kuwano H	第一外科
Hepatogastroenterology. 59(114): 372-4, 2012	Extranodal metastasis predicts poor survival in advanced colorectal cancer.	Tsutsumi S, Watanabe R, Tabe Y, Fujii T, Morita H, Kigure W, Kato T, Yamauchi H, Sakai M, Asao T, Kuwano H	第一外科
Hepatogastroenterology. 59(120): 2477-9, 2012	The efficacy of fondaparinux for the prophylaxis of venous thromboembolism after resection for colorectal cancer.	Tsutsumi S, Yajima R, Tabe Y, Fujii T, Morita H, Kigure W, Kato T, Yamauchi H, Suto T, Asao T, Kuwano H	第一外科
Am Surg. 78(2): 81-3, 2012	Successful treatment of a patient with colon cancer with congenital coagulation factor XI deficiency.	Yamaguchi S, Tsutsumi S, Fujii T, Yajima R, Ide M, Kigure W, Morita H, Suto T, Kato T, Mochiki E, Suzuki H, Asao T, Kuwano H	第一外科
Oncol Rep. 29: 932-40, 2012	Podoplanin overexpression in human mesothelioma cell lines enhances the tumorigenic phenotype.	Yamaki E, Yajima T, Kosaka T, Mogi A, Tanaka S, Kuwano H	第一外科
Int J Oncol. 41: 253-259, 2012	Copy number loss of FBXW7 is related to gene expression and poor prognosis in esophageal squamous cell carcinoma.	Yokobori T, Mimori K, Iwatsuki M, Ishii H, Tanaka F, Sato T, Toh H, Sudo T, Iwaya T, Tanaka Y, Onoyama I, Kuwano H, Nakayama KI,	第一外科
Biomed Res Int. 2013:834790, 2013	Development of a novel system for mass spectrometric analysis of cancer-associated fucosylation in plasma α 1-acid glycoprotein.	Asao T, Yazawa S, Nishimura T, Hayashi T, Shimaoka H, Saniabadi AR, Kuwano H	第一外科
Oncol Rep. Mar;29(3):932-40, 2013	Podoplanin overexpression in human mesothelioma cell lines enhances the tumorigenic phenotype.	Yamaki E, Yajima T, Kosaka T, Mogi A, Tanaka S, Kuwano H	第一外科
Cancer Sci. Jan;104(1):48-54, 2013	MiR-150 is associated with poor prognosis in esophageal squamous cell carcinoma via targeting the EMT inducer ZEB1.	Yokobori T, Suzuki S, Tanaka N, Inose T, Sohda M, Sano A, Sakai M, Nakajima M, Miyazaki T, Kato H, Kuwano H	第一外科
Surg Today. Feb;43(2):155-62, 2013	Associated expression of α 2,3sialylated type 2 chain structures with lymph node metastasis in distal colorectal cancer.	Fukasawa T, Asao T, Yamauchi H, Ide M, Tabe Y, Fujii T, Yamaguchi S, Tsutsumi S, Yazawa S, Kuwano H	第一外科
ドクターサロン 56(6): 19-23, 2012	手足症候群	浅尾高行	第一外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
群馬大学医学部医学科 平成21～23年度 p546-550, 2012	その他臨床科関連成果・中心静脈の解剖理解のための3D-CTの活用「大学教育・学生支援推進事業」 大学教育推進プログラム【テーマA】人体解剖とのCTの統合による先駆的医学教育報告書	浅尾高行、桑野博行	第一外科
日本臨床 70(Suppl 6): 511-516, 2012 2012年8 月20日発行 日本臨床社 東京	医薬品副作用学(第2版) 一薬剤の安全使用アップ デートー III. 副作用各論一重大な副作用一 皮膚 手足症候群	浅尾高行、桑野博行	第一外科
人体解剖とCTの統合による 先駆的医学教育報告 書 群馬大学医学部医学科 平成21～23年度 p.546-549, 2012	資料9 その他臨床科関連成果	浅尾高行、桑野博行	第一外科
プロフェッショナルがん ナーシング 2(1): 62-74, 2012	治療に伴う看護特集 セツキシマブ・パニツマブ / カ ペシタピン / パクリタキセルによる主な皮膚症状の看護 2 カペシタピンによる手足症候群	浅尾高行、松井佐知子、 鈴木伸代	第一外科
The Kitakanto Medical Journal 62(1): 119-120, 2012	乳癌、大腸癌のリンパ節転移におけるリンパ節外浸 潤(ELI)の意義	藤井孝明	第一外科
日本腹部救急医学会雑誌 32(6): 1051-1056, 2012	特集:消化器外科領域の緊急手術におけるSSI対策 Incisional SSI高リスク群における皮下ドレーンの有用 性	藤井孝明、須藤利永、森 田廣樹、矢島玲奈、加藤 寿英、堤 莊一、浅尾高 行、桑野博行	第一外科
癌と化学療法 39(12): 2185-2188, 2012	食道癌リンパ節転移陽性例における術後補助化学 療法の有効性の検討	本城裕章、芳賀紀裕、石 畝 亨、宮崎達也、隈元 謙介、熊谷洋一、馬場裕 之、石橋敬一郎、辻 美 隆、石田秀行	第一外科
外科 74(9): 921-925, 2012	特集 消化器癌に対するneo-adjuvant therapyの最 新情報「2.頸部食道癌に対する機能温存目的の neo-adjuvant therapy」	猪瀬崇徳、宮崎達也、酒 井 真、小澤大悟、鈴木 茂正、田中成岳、横堀武 彦、宗田 真、桑野博行	第一外科
手術 66(7): 935-940, 2012	特集:Emergency surgery「食道破裂」	猪瀬崇徳、宮崎達也、田 中成岳、宗田 真、桑野 博行	第一外科
手術 66(2): 189-207, 2012	第65回手術手技研究会記事「主題 I. 各種エネル ギーデバイスを用いた郭清術, その是非と手技」	北川雄光、桑野博行(座 長)	第一外科
最新消化器看護 117(4): 88-91, 2012	結腸直腸癌待機手術症例に対するenhanced recovery after surgery (ERAS)プロトコル	郡 隆之、岡添友洋、高 田考大、関原正夫、安藤 哲、浅尾高行、桑野博行	第一外科
最新消化器看護 117(3): 90-93, 2012	周術期管理の基礎知識(後編)	郡 隆之、岡添友洋、高 田考大、関原正夫、安藤 哲、浅尾高行、桑野博行	第一外科
最新消化器看護 117(2): 68-71, 2012	周術期管理の基礎知識(前編)	郡 隆之、岡添友洋、高 田考大、関原正夫、安藤 哲、浅尾高行、桑野博行	第一外科
2012-2013 肝疾患 Review 185-188, 2012 日本メディカルセンター	第2部 トピックス 5 その他のトピックス一肝病態理 解のために 1.肝再生の制御機構とアクチビン	久保憲生、小島 至	第一外科
早期食道癌 そのコンセン サスと最前線 2012 中 外医学社 東京	「早期食道癌一そのコンセンサスと最前線」	桑野博行(編集)	第一外科
胸部外科 65(7): 532, 2012	まい・てくにつく 食道・胃管吻合法	桑野博行、宮崎達也	第一外科
メディカル朝日 41(10): 80-82, 2012	診療ガイドラインニュースVol.77「食道癌診断・治療 ガイドライン 2012年4月版」	桑野博行、宮崎達也	第一外科
4uフォー・ユー 5: 27-28, 2012 首都圏北部4大学 連合(4u) 技術移転分科 会 事務局	分野:ライフサイエンス「群馬大学大学院医学系研究 科 病態総合外科(第一外科)」	桑野博行、浅尾高行	第一外科
漢方医学 36(3): 194- 197, 2012	特集 グレリンと六君子湯 臨床研究:胃癌化学療法 に対する検討「S-1-CDDP併用療法の食欲不振に対 する六君子湯の効果」	桑野博行	第一外科
臨床外科 67(13): 1483, 2012	特集 本当は怖い 臓器解剖変異一外科医が必ず 知っておくべき知識「変異も含む外科解剖を熟知し た手術に向けて」	桑野博行	第一外科
医学界新聞 第2996号 P.1-3, 2012	座談会 消化器外科の新地平をひらく がん診療の 新たなスタンダード構築に向けて	宮崎 勝、森 正樹、桑野 博行、渡邊聡明	第一外科
臨床外科 67(10): 1290- 1294, 2012	「食道癌診断・治療ガイドライン2012年4月版」(第3版) の改訂点のポイント	宮崎達也、宗田 真、猪 瀬崇徳、田中成岳、鈴木 茂正、桑野博行	第一外科
コンセンサス癌治療 11(2): 67-70, 2012	「食道癌の治療」「食道癌取扱い規約」と「食道癌診 断・治療ガイドライン」「食道癌診断・治療ガイド ライン」の要点	宮崎達也、猪瀬崇徳、田 中成岳、鈴木茂正、桑野 博行	第一外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
胸部外科 65(8): 753-757, 2012	特集:合併症を有する胸部外科手術「内分泌・代謝疾患合併症に対する食道癌手術」	宮崎達也、桑野博行	第一外科
消化器外科 35(7): 1137-1141, 2012	特集:食道癌診療のトピックス『食道癌診断・治療ガイドライン』の要点	宮崎達也、宗田 真、猪瀬崇徳、田中成岳、鈴木茂正、小澤大悟、横堀武彦、福地 稔、桑野博行	第一外科
臨床外科 67(11): 107-111, 2012	特集 外科医のための癌診療データ 臓器別最新データ 4.食道癌 食道癌の非切除・再発例	宮崎達也、猪瀬崇徳、横堀武彦、田中成岳、鈴木茂正、小澤大悟、原 圭吾、桑野博行	第一外科
臨床外科 67(13): 1498-1503, 2012	特集 本当は怖い臓器解剖変異—外科医が必ず知っておくべき知識「食道癌手術時に留意すべき解剖とその変異」	宮崎達也、猪瀬崇徳、田中成岳、鈴木茂正、原 圭吾、小澤大悟、横堀武彦、桑野博行	第一外科
外科 74(12): 1266-1270, 2012	特集:手術前に必読 局所解剖 I.食道の解剖 3.食道再建術に必要な局所解剖	宮崎達也、田中成岳、猪瀬崇徳、横堀武彦、鈴木茂正、小澤大悟、原 圭吾、桑野博行	第一外科
Geriatric Medicine(老年医学) 50(8): 933-939, 2012	高齢者の上部消化管術後の消化管運動障害と対策	持木彫人、桑野博行	第一外科
JOHNS 28(12): 1867-1870, 2012	特集「誤嚥と嚥下性肺炎 疑問に答える」胃瘻は誤嚥を予防できますか?またその適応は?	緒方杏一、持木彫人、桑野博行	第一外科
臨牀と研究 89(10): 1449-1463, 2012	特別講演「胃癌の治療成績向上のための私達の取り組み」—第21回日本癌病態治療研究会—	大岩俊夫、桑野博行	第一外科
臨牀と研究 89(11): 1556-1558, 2012	拡大左葉グラフト生体肝移植門脈吻合における器械吻合の有用性の検討	末廣剛敏、志村龍男、鈴木秀樹、桑野博行	第一外科
臨牀と研究 89(3): 377-380, 2012	成人間生体肝移植におけるアフターシスの意義	末廣剛敏、志村龍男、鈴木秀樹、桑野博行	第一外科
臨床外科 67(9): 1132-1136, 2012	特集:高齢者外科手術における周術期管理 高齢者対策の実際「食道癌手術における高齢者対策」	田中成岳、宮崎達也、原 圭吾、小澤大悟、鈴木茂正、横堀武彦、猪瀬崇徳、桑野博行	第一外科
癌の臨床 58(6): 409-414, 2012	術前温熱化学放射線治療後のSurgical marginの検討	堤 莊一、森田廣樹、須藤利永、矢島玲奈、加藤寿英、藤井孝明、山口 悟、浅尾高行、桑野博行	第一外科
日本臨牀 増刊号 70(7): 659-63, 2012	インプラントを用いた乳癌切除後乳房同時再建術	山口 悟、藤井孝明、矢島玲奈、浅尾高行、桑野博行	第一外科
胸部外科 66(1): 73-84, 2012	REVIEW 食道癌の分子生物学的知見	横堀武彦、桑野博行	第一外科
消化器外科 6(3): 279-287, 2013	【消化器外科手術のエビデンス】食道外科におけるエビデンス	福地 稔、宮崎達也、深澤孝晴、桑野博行	第一外科
臨床外科 68(3): 275-279, 2013	【CRT時代の直腸癌手術-最善の戦略は何か】適応、治療法と治療成績 温熱療法併用のCRT 肛門温存率の向上および長期予後改善を目指した、直腸癌に対するhyperthermo-chemo-	堤 莊一、森田廣樹、須藤利永、藤井孝明、浅尾高行、中野隆史、桑野博行	第一外科
実践安全手術看護 6(6): 64-69, 2013	ERASの概要と手術室看護師が押さえる術中のポイント	郡 隆之、関原正夫、安藤哲、岡添友洋、高田考大、浅尾高行、桑野博行	第一外科
日本医事新報 4638: 60-61, 2013	早期食道癌の定義・治療法	宮崎達也、桑野博行	第一外科
胸部外科 66(1): 73-84, 2013	食道癌の分子生物学的知見	横堀武彦、桑野博行	第一外科
消化器外科Nursing 18(1): 8-17, 2013	【術式別に理解!術後ケアぱっちりマニュアル】食道切除術の術後ケア	田中成岳、宮崎達也、桑野博行	第一外科
臨床外科 68(2): 158-163, 2013	【術後の血管系合併症-その診断と対策】術後の肺動脈塞栓 治療のコツ	猪瀬崇徳、宮崎達也、鈴木茂正、田中成岳、国元文生、桑野博行	第一外科
臨床外科 68(1): 6-9, 2013	【進歩する消化器外科手術-術式の温故知新】疾患別 食道癌手術の温故知新	宮崎達也、猪瀬崇徳、田中成岳、鈴木茂正、原 圭吾、小澤大悟、横堀武彦、福地 稔、桑野博行	第一外科
Pathol. Oncol. Res.2013 Mar 21.[Epub ahead of print]	Clinicopathological significance of L-type amino acid transporter 1 (LAT1) expression in patients with adenoid cystic carcinoma.	Kaira K, Toyoda M, Chikamatsu K.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
Laryngoscope 123(2):440-445,2013.	Improvement of tracheal flap method for laryngotracheal separation.	Shino M, Yasuoka Y, Chikamatsu K.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cancer Sci. 103(6):976-983, 2012.	Immunosuppressive activity of CD14+HLA-DR-cells in squamous cell carcinoma of the head and neck.	Chikamatsu K, Sakakura K,	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
Ann Surg Oncol. 19(12):3865-70, 2012	Intraoperative molecular assessment for lymph node metastasis in head and neck squamous cell carcinoma using one-step nucleic acid amplification(OSNA) assay.	Matsuzaki T, Takahashi K, Furuya N	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
喉頭 24:109-115, 2012.	内視鏡下披裂軟骨内転術(EAAS) -術前トレーニングと手術のコツ-	安岡義人, 島田哲明, 近松一朗.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
Kitakanto Med	Navigator-gated Non-contrast Renal MR Angiography: Qualitative and Quantitative Comparison of 3T and 1.5T Images	島田 健裕	放射線診断核医学
Radiat Prot Dosimetry	Diagnostic Reference Level of Computed Tomography (CT) in Japan	福島 康宏	放射線診断核医学
Jpn J Radiol	CT fluoroscopy-guided radiofrequency ablation of osteoid osteoma with double nidi	宮崎 将也	放射線診断核医学
Cancer Immunol Immunother	In vivo therapeutic effect of CDH3/P-cadherin-targeting radioimmunotherapy	吉岡 弘樹	放射線診断核医学
Jpn J Radiol	Contrast-and non-contrast-enhanced ultrasonography (US) findings of hepatic metastasis from malignant pheochromocytoma/paraganglioma	中野 祥子	放射線診断核医学
Ann Vascul Dis	Non-Contrast Renal MR Angiography: Value of subtraction of tagging and non-tagging technique	島田 健裕	放射線診断核医学
Bio Med Central	Multidetector-row computed tomography for evaluating the branching angle of the celiac artery: a descriptive study	徳江 浩之	放射線診断核医学
Biology of Reproduction	Glucose-Regulated Protein, 78-Kilodalton as a Modulator of Luteinizing Hormone Receptor Expression in Luteinizing Granulosa Cells in Rats.	小暮 佳代子	産科婦人科
Gynecologic Oncology	GRP78 induced by estrogen plays a role in the chemosensitivity of endometrial cancer.	Luvsandagva Baigalmaa	産科婦人科
Molecular medicine reports	Downregulation of LH receptor mRNA in the rat uterus.	笠原 慶充	産科婦人科
ペインクリニック学会誌 2012;19:1-5	FIRSTの日本語化とその使用について	荻野祐一、小幡英章、肥塚史郎	麻酔科蘇生科
Anesthesiology 2012;117:389-98	Ondansetron reverses anti-hypersensitivity from clonidine in rats following peripheral nerve injury: Role of γ -amino butyric acid (GABA) in α 2-adrenoceptor and 5-HT3 serotonin receptor analgesia.	Hayashida K, Kimura M, Yoshizumi M	麻酔科蘇生科
Br J Anaesth 2012;109:957-67.	Long-term effect of epidural injection with slow-release lidocaine particles in a rat model of postoperative pain.	Suto T, Obata H, Tobe M	麻酔科蘇生科
Am J of Emerg Med 2012; 30(7):1125-8	Balance of older trekkers: data on alpine accidents and performance as assessed using a video game machine	Kimura M, Tobe M, Suto T, Narahara S	麻酔科蘇生科
Aneath Analg 2012;115:443-9	Antihypersensitivity effects of tramadol hydrochloride in a rat model of postoperative pain.	Kimura M, Obata H, Saito S.	麻酔科蘇生科
Neurosci Lett 2012;529:70-4	Dexmedetomidine decreases hyperalgesia in neuropathic pain by increasing acetylcholine in the spinal cord.	Kimura M, Saito S, Obata H.	麻酔科蘇生科
Anesthesiology 2013;118:173-80.	Relief of hypersensitivity after nerve injury from systemic donepezil involves spinal cholinergic and γ -amino butyric acid (GABA) mechanisms.	Kimura M, Hayashida K, Eisenach JC	麻酔科蘇生科
Mol Pain 2012; 19:8-45	Milnacipran inhibits glutamatergic N-Methyl-D-Aspartate receptor activity in Spinal Dorsal Horn Neurons.	Kohno T, Kimura M, Sasaki M, Obata H	麻酔科蘇生科
Wilderness Environ Med 2012;23(2):161-4.	Effects of cardiopulmonary resuscitation at high altitudes on the physical condition of untrained and unacclimatized rescuers.	Narahara H, Kimura M, Suto T	麻酔科蘇生科
PLoS ONE 2012;7(7):e40154	Maturation of spinal motor neurons derived from human embryonic stem cells.	Takazawa T, Croft GF, Amoroso MW	麻酔科蘇生科
J Neurol Sci	Acoustic impairment is a distinguishable clinical feature of Asidan/SCA36.	池田 佳生	神経内科
Neurology	Clinical features of SCA36: a novel spinocerebellar ataxia with motor neuron involvement (Asidan).	池田 佳生	神経内科
J Neurol Sci	Assessment of swallowing in motor neuron disease and Asidan/SCA36 patients with new methods.	池田 佳生	神経内科
Eur J neurol	Cognitive and affective impairments of a novel SCA/MND crossroad mutation Asidan.	池田 佳生	神経内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Amyloid	Encephalopathy with amyloid angiopathy and numerous plaques in low levels of CSF Ab1-40/Ab1-42.	池田 将樹	神経内科
Int J Palliat Nurs	Circumstances surrounding death and nursing difficulties with end-of-life care for individuals with ALS in central Japan.	岡本 幸市	神経内科
J Neurol Sci	Comparison of phosphorylated TDP-43-positive inclusions in oculomotor neurons in patients with non-ALS and ALS disorders.	水野 祐司	神経内科
THE KITAKANTO MEDICAL JOURNAL	Mitral Valve Malfunction of a St.Jude Medical Prosthetic due to Pannus Formation and Thrombosis.	Takashi Ogino,Kazuhiro Sakata,Toshiharu Yamagishi,Shuichi Hagiwara,Kiyohiro Oshima,Yuichi Iino,Satoshi Ohki,Toru	臓器病態救急学
THE KITAKANTO MEDICAL JOURNAL	Surgical Treatment of an Aneurysm of the Common and Deep Femoral Arteries: A Case Report	Takashi Ogino,Tamiyuki Ohbayashi,Tatsuo Kaneko,Yasushi Satoh,Yutaka Hasegawa,Tetsuya Koyano,Satoshi	臓器病態救急学
THE KITAKANTO MEDICAL JOURNAL	Traumatic Thoracic Aortic Dissection with Oral Administration of Antiplatelet Drugs in Multiple Trauma:A Case Report	Takashi Ogino,Tetsushi Ogawa,Tetsuya Ishikawa,Toshiyuki Tanaka,Masaaki Aiba,Ichiro Sakamoto,Hisashi	臓器病態救急学
消化器外科	腹腔穿孔・腹腔洗浄ドレナージ	竹吉泉、須納瀬豊、塚越浩志、大嶋清宏	臓器病態救急学
THE KITAKANTO MEDICAL JOURNAL	ネオジム磁石を用いた四肢・体幹の鉄片除去術の工夫	荻野隆史、萩原周一、山田拓郎、大嶋清宏、飯野佑一	臓器病態救急学
群馬県救急医療懇談会誌	群馬県医療救護圏としての災害地派遣の経験を通して	大嶋 清宏	臓器病態救急学
群馬県救急医療懇談会誌	シルデナフィル含有精力剤の副作用により心停止に陥ったと考えられた一例	青木誠、萩原周一、古川和美、中村卓郎、日野原宏、国元文生、大山良雄、田村蓮一、大嶋清宏	臓器病態救急学
群馬県救急医療懇談会誌	外傷患者におけるカテーテル感染の4例	森田香穂、荻野隆史、鈴木悠平、青木誠、高橋有我、萩原周一、石原宏一、大嶋清宏、飯野佑一	臓器病態救急学
群馬県救急医療懇談会誌	救急領域における活性酸素・フリーラジカル測定の試み	荻野隆史、小川哲史、青木誠、内藤千晶、石原宏一、森村征史、村田将人、萩原周一、山田拓郎、中村卓郎、古川和美、大嶋清宏、飯野佑一	臓器病態救急学
群馬県救急医療懇談会誌	迅速な気道確保によって救命し得た下顎骨折の一例	黒田章博、村田将人、萩原周一、古川和美、中村卓郎、大山良雄、田村蓮一、大嶋清宏	臓器病態救急学
群馬県救急医療懇談会誌	LITA分枝損傷による咽後血腫から窒息をきたした1例	村田将人、萩原周一、古川和美、中村卓郎、大山良雄、田村蓮一、島田晴彦、小川佳成、大嶋清宏	臓器病態救急学
群馬県救急医療懇談会誌	高齢者の心静止CPA患者の1救命例	鈴木悠平、荻野隆史、森田香穂、青木誠、萩原周一、石原宏一、大嶋清宏、飯野佑一	臓器病態救急学
群馬県救急医療懇談会誌	顎顔面領域の外傷を含む多発外傷25例の検討	石原宏一、森村征史、青木誠、村田将人、萩原周一、山田拓郎、中村卓郎、古川和美、石北敏一、大嶋清宏、飯野佑一	臓器病態救急学
群馬大学 環境報告書	群馬県医療救護圏としての災害地派遣の経験を通して	大嶋 清宏	臓器病態救急学
群馬大学 環境報告書	群馬大学DMAT 岩手県立釜石病院救援隊活動報告	萩原 周一	臓器病態救急学
群馬医学	小児の広範囲左肺の挫傷の1例	荻野隆史、青木誠、川島隆弘、中田聡、本徳浩二、笹口修男、栗原秀行、菅野雅之、大塚真、金井光康、石黒幸司、五十嵐恒雄、坂元一郎、饗	臓器病態救急学

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
群馬医学	術後残存および再発下肢静脈瘤に対する結紮術の工夫	荻野隆史、青木誠、大木聡、小谷野哲也、小川哲也、竹吉泉、熊倉久夫、村田将人、萩原周一、大嶋清宏、飯野佑一	臓器病態救急学
日本外傷学会	特発性血小板減少性紫斑病を合併した外傷性くも膜下出血、Le Fort I型顔面骨骨折の1例	荻野隆史、青木誠、柴野正康、稲川元明、高崎義人、萩原周一、大嶋清宏	臓器病態救急学
日本救命医療学会雑誌	急性冠症候群に対する超緊急冠動脈倍バイパス術の検討	荻野隆史、小川哲史、小谷野哲也、大木聡、山岸敏治、坂田一宏、高橋徹、竹吉泉、森下靖雄、萩原周一、大嶋清宏、飯野佑一	臓器病態救急学
Japanese Journal of Acute Care Surgery	IL-6測定が述語管理に有用であった敗血症性ショック、絞扼性イレウス、汎発性腹膜炎の1例	荻野隆史、青木誠、萩原周一、大嶋清宏、飯野佑一、小川哲史、饗場正明、坂元一郎、清水尚、戸谷裕之、山崎穂高、竹吉泉	臓器病態救急学
第33回国立大学法人リハビリテーションコ・メディカル学術大会誌	Sit-to-Walk taskにおけるfluidityと身体重心および圧中心の関係	朝倉 智之	リハビリテーション部
小児科学	運動をしており下肢を骨折したようですが	入内島 崇紀	リハビリテーション部
Kitakanto Medical journal	Preferred Pace Tapping Activates the Frontal Lobe	下田 佳央理	リハビリテーション部
Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc	Age as a predictor of residual muscle weakness after anterior cruciate ligament reconstruction	入内島 崇紀	リハビリテーション部
Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc	Evaluation of the prevalence, lesion, and depth of osteoarthritic changes in the patella	入内島 崇紀	リハビリテーション部
Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc	Patient selection of anatomical double bundle or traditional single bundle ACL reconstruction	入内島 崇紀	リハビリテーション部
Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc	Size comparison of ACL footprint and reconstructed auto graft	入内島 崇紀	リハビリテーション部
Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc	Rollback of the femoral condyle in anatomical double-bundle anterior cruciate ligament reconstruction	入内島 崇紀	リハビリテーション部
Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc	PCL to graft impingement pressure after anatomical or non-anatomical single-bundle ACL reconstruction	入内島 崇紀	リハビリテーション部
日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会雑誌 (JOSKAS)	最大伸展位膝MRIを用いた解剖学的二重束前十字靭帯再建におけるRoof Impingementの検討	入内島 崇紀	リハビリテーション部
日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会雑誌	膝関節前十字靭帯再建後筋力回復および関節安定性に影響する因子の検討	入内島 崇紀	リハビリテーション部
Arch Orthop Trauma Surg	Anatomical evaluation of the rectus femoris tendon and its related structures	入内島 崇紀	リハビリテーション部
Geriatr Gerontol Int	Immediate effects of physical therapy on gait disturbance and frontal assessment battery in Parkinson's disease.	宗宮 真	リハビリテーション部
Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc	ACL footprint size is correlated with the height and area of the lateral wall of femoral intercondylar notch	入内島 崇紀	リハビリテーション部
Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc	Graft impingement in anterior cruciate ligament reconstruction	入内島 崇紀	リハビリテーション部
理学療法科学	模倣的可動域制限における上肢機能の左右差の解析 (インプレス)	徳田 継祐	リハビリテーション部
Phys. Ther. Sci.	Muscle Tightness as One of the Physical Factors that Affect Kicking Motion	武井 健児	リハビリテーション部
Respiratory Investigation	Influence of inhaled procaterol on pulmonary rehabilitation in chronic obstructive pulmonary	長谷川 信	リハビリテーション部
兵庫県整形外科医会だより	スポーツ障害と運動連鎖-運動器外科後遺症の評価を含めて-	白倉 賢二	リハビリテーション部
今日のリハビリテーション指針	『脱臼・骨折(上肢)』『肩関節脱臼』『上腕骨骨折』『肘関節の脱臼・骨折』『前腕の骨折』	白倉 賢二	リハビリテーション部
今日のリハビリテーション指針	『脱髄・変性疾患』『Parkinson病』	和田 直樹	リハビリテーション部
日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会雑誌	大腿四頭筋腱の解剖学的検討:ACL再建グラフトとして用いるために	入内島 崇紀	リハビリテーション部
Prostate Cancer and Prostatic Disease	Development and external validation of a nomogram for predicting cancer probability at initial prostate biopsy using the life expectancy- and prostate volume-adjusted biopsy scheme.	野村 昌史	泌尿器科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
World J Urol	Diagnostic significance of [-2]pro-PSA and prostate dimension-adjusted PSA-related induces in men with total PSA in the 2.0-10.0ng/ml range.	伊藤 一人	泌尿器科
J Androl	Luteinizing hormone (LH)-releasing hormone agonist reduces serum adrenal androgen levels in prostate cancer patients: Implications for the effect of LH on the adrenal glands.	西井 昌弘	泌尿器科
Prostate Cancer and Prostatic Disease	Impact of pretreatment factors, biopsy Gleason grade volume indices and post-treatment nadir PSA on overall survival in patients with metastatic prostate cancer treated with step-up hormonal therapy.	宮久保 真意	泌尿器科
眼科	ASLOが高値を示した樹氷状血管炎の2症例に対するトリアムシロンテンオン嚢下注射	山田 教弘	眼科
臨床眼科	圧迫性視神経症を呈した甲状腺眼症の3例	黛 豪恭	眼科
臨床眼科	網膜静脈閉塞症様所見で発症しBehcet病と診断された2例	篠原 洋一郎	眼科
臨床眼科	ポリープ状脈絡膜血管症に伴う黄斑下血腫に対するラニビズマブ併用硝子体内ガス注入術	廣江 孝	眼科
眼科手術	小切開線維柱帯切除術の成績	大島 美穂	眼科
Clin Ophthalmol	Movement of intraretinal fluid from distant branch retinal vein occlusion to the submacular space.	Otani T	眼科
Clin Ophthalmol	Resolution of persistent corneal erosion after administration of topical rebamipide.	Kashima T	眼科
PloS One	Localization of acetylcholine-related molecules in the retina: implication of the communication from photoreceptor to retinal pigment epithelium.	Matsumoto H	眼科
Doc Ophthalmol	Inverse pattern of photoreceptor abnormalities in retinitis pigmentosa and cone-rod dystrophy.	Yokochi M	眼科
Ophthalmic Surg Lasers Imaging	Vitreous cortex splitting in cases of vitreomacular traction syndrome	Itakura H	眼科
Br J Dermatol.167: 1161-1164, 2012	Human papillomavirus type 56-associated Bowen's disease.	Shimizu A, Tamura A, Abe M, Amano H, Motegi S, Nakatani Y, Hoshino H, Ishikawa O	皮膚科
Biochem Biophys Res Commun. 425(2):353-356, 2012	A rapid and efficient newly established method to detect COL1A1-PDGFB gene fusion in dermatofibrosarcoma protuberans.	Yokoyama Y, Etsuko Okada E, Akira Shimizu A, Ishikawa O	皮膚科
J Dermatol. 39(11):898-901, 2012	Clinical follow-up study of adult-onset Still's disease.	Nagai Y, Hasegawa M, Okada E, Hattori T, Tago O, Ishikawa O	皮膚科
J Clin Pathol. 65(9):815-8, 2012	Isolated cutaneous manifestation of IgG4-related disease.	Hattori T, Miyanaga T, Tago O, Udagawa M, Kamiyama Y, Nagai Y, Ishikawa O	皮膚科
Rheumatol 51:129-133, 2012	Investigation of prognostic factors for skin sclerosis and lung function in Japanese patients with early systemic sclerosis: a multi center prospective observational study.	Hasegawa M, Asano Y, Endo H, Fujimoto M, Goto D, Ihn H, Inoue K, Ishikawa O, Kawaguchi Y, Kuwana M, Muro Y, Ogawa F, Sasaki T,	皮膚科
J Dermatol. 39(3):242-52, 2012	Efficacy and safety of ustekinumab in Japanese patients with moderate-to-severe plaque-type psoriasis: long-term results from a phase 2/3 clinical trial.	Igarashi A, Kato T, Kato M, Song M, Nakagawa H, Nemoto O, Koga M, Mayama J, Nakagawa H, Morita A, Iizuka H, Terui T, Ozawa A, Ishikawa O,	皮膚科
Eur J Dermatol. 22(1):46-53, 2012	A possible mechanism of basic fibroblast growth factor-promoted scarless wound healing: the induction of myofibroblast apoptosis.	Abe M, Yokoyama Y, Ishikawa O	皮膚科
J Dermatol 39:852-854, 2012	Autopsy case of delayed anaphylactic shock due to contrast medium.	Nagai Y, Tanaka Y, Nakazato Y, Sugawara N, Arai M, Okada E, Koyama Y, Hinohara H, Yamamoto K, Kurabayashi M, Nojima	皮膚科
Acta Derm Venereol 92(4):395-398, 2012.	Cryopyrin-associated periodic syndrome: A case report and review of the Japanese literature.	Aoyama K, Amano H, Takaoka Y, Nishikomori R, Ishikawa O	皮膚科
J Dermatol. 39(1):48-51, 2012	Bosentan for digital ulcers in patients with systemic sclerosis.	Nagai Y, Hasegawa M, Hattori T, Okada E, Tago O, Ishikawa O	皮膚科
Eur J Dermatol. 22(4):571-572, 2012	White sponge nevus caused by a missense mutation in the keratin 4 gene.	Shimizu A, Yokoyama Y, Shimomura Y, Ishikawa O	皮膚科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Exp Dermatol 21:304-307, 2012 (letter to the editor)	Xeroderma pigmentosum complementation group G patient with a novel homozygous missense mutation and no neurological abnormalities.	Moriwaki S, Takigawa M, Igarashi N, Nagai Y, Amano H, Ishikawa O, Khan SG, Kraemer KH	皮膚科
J Dermatol. 39(10):860-861, 2012	Pigmented plaque-type condyloma acuminatum associated with human papillomavirus type 6.	Shimizu A, Tamura A, Nakatani Y, Shimizu N, Hoshino H, Ishikawa O	皮膚科
皮膚の科学11(増刊17):27-33, 2012	塩基性線維芽細胞増殖因子によるケロイド治療の可能性に関する基礎的検討	安部正敏、横山洋子、上原顕仁、石川 治	皮膚科
日皮会誌 122(3):607-611, 2012	群馬大学皮膚科医における膠原病とサルコイドーシスのが大英霊の検討	井上千鶴、曾我部陽子、永井弥生、石川 治	皮膚科
皮膚臨床54(2):193-196, 2012	リベドー血管症14例の臨床的検討	平井伸幸、永井弥生、石川 治	皮膚科
臨皮66(12):969-973, 2012	成人型全身性肥満細胞症の1例	内山明彦、須藤麻利子、長谷川道子、永井弥生、石川 治	皮膚科
皮膚臨床 54(10):1383-1386, 2012	小児Sjögren症候群症候群の1例	関口明子、井上千鶴、永井弥生、石川 治	皮膚科
Visual Dermatol 11:851-853, 2012	急速進行性間質性肺炎を伴った小児皮膚筋炎	永井弥生、水野隆久、吉澤千景、石川 治	皮膚科
皮膚臨床54(1):87-90, 2012	抗デスモグレイン1抗体が陽性を示したDysidrosiform Pemphigoidの1例	上原顕仁、山田和哉、長谷川道子、永井弥生、田村敦志、石川 治	皮膚科
臨皮 66(1):35-40, 2012	免疫グロブリン大量静注療法が奏功した後天性表皮水疱症が疑われた1例	神山由佳、長谷川道子、永井弥生、石川 治、福田俊平、橋本 隆	皮膚科

計 268

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長：野島 美久
管理担当者氏名	総務課長：福田 美則 医療サービス課長：小出 利一

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医療サービス課、医療情報部	電子カルテによる管理(医療サービス課)
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿		紙媒体のファイルを保管、管理(医療サービス課)
	高度の医療の提供の実績	医療サービス課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医療サービス課	
	高度の医療の研修の実績		
	閲覧実績		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療サービス課	
第規一則号第一に掲げる十一項の各号及び第九條の二十三第一項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医療サービス課、薬剤部	紙媒体のファイルを保管、管理(医療サービス課)
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療サービス課	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療サービス課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療サービス課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療サービス課	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療サービス課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療サービス課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療サービス課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療サービス課	

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長：野島 美久
閲覧担当者氏名	総務課長：福田 美則
閲覧の求めに応じる場所	医学部大会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	1	件	
閲覧者別	医師	延	件	
	歯科医師	延	件	
	国	延	1	件
	地方公共団体	延	件	

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	87.4%	算定期間	平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数	17,546 人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	17,365 人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	1,863 人	
	D：初診の患者の数	24,665 人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
<ul style="list-style-type: none">指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none">当院における安全管理の基本的考え方：安全文化の育成医療安全を推進するための委員会等の設置職員に対する研修の基本方針事故報告などの医療に関わる安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針事故発生時の対応に関する基本方針情報の共有に関する基本方針（当該指針の閲覧に関する基本方針）患者相談への対応に関する基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none">活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">医療業務安全管理委員会：医療事故防止専門委員会からのインシデント報告書の分析結果等の報告を受け、分析結果や改善指摘事項等について協議するとともに、その改善事項等の決定及び各診療科等への改善命令等の決定を行う。医療事故防止専門委員会：具体的なインシデント・アクシデント報告書の内容分析を行い、改善事項等について審議し、その結果を上部委員会へ報告するとともに、決定された改善事項についてやテーマを設けての病棟等巡視点検を行う。	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 3 5 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容：<p>24年度は全体研修として「医療安全職員研修」（全5回）、「児童虐待予防講演会」、「CV C認定制度説明会」、「感染対策講演会」、「救命救急講習会」（全12回）を実施した。その他に新規採用者へ、前後期に本院の医療安全管理体制、麻薬管理など4テーマについて研修の実施およびオリエンテーションで、安全や感染に関する講演を行った。また、委託職員へ外来窓口対応についての安全研修を実施した。原則的には、全ての研修の内容がe-Learningで受講できるよう整備し、一部の研修については、研修の様子を撮影したDVDの上演会も実施した。</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機関内における事故報告等の整備（有）その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">各診療科、病棟等にリスクマネージャー93名を配置。月間強化テーマを設け医療事故防止専門委員による巡視。『医療安全情報』の閲覧確認簿の設置	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有（ 4 名）
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（ 6 名）

⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任（ 4）名 兼任（ 5）名 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療事故発生時の即時対応 ・ インシデント・アクシデント報告書の即時調査、分析、管理 ・ 医療業務安全管理委員会、医療事故防止専門委員会、医療事故調査専門委員会、リスクマネージャー会議に関する事 	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 病院感染対策に関する基本的な考え方・ 感染対策委員会及び感染制御部・ 職員研修・ 病院感染発生時の対応・ 病院感染対策マニュアル・ 患者への情報提供と説明・ その他の病院感染対策の方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 感染対策の実施及び指導・ 感染対策に関する必要事項の検討・ 感染症の情報収集、整理、解析及び対策・ 感染症の解析結果の迅速な情報提供・ 感染症の継続的観察及び対策実施後の評価・ 感染症に関する啓発、講習、教育・ 感染防止のためのガイドライン及びマニュアルの整備	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3 回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 新採用職員研修（オリエンテーション）「検査部と感染予防対策について」・ 全体研修 感染対策講演会 「宮城県南三陸町における医療救護班活動」、 「災害時の感染対策」・ 全体研修 感染対策講演会 「多剤耐性アシネトバクター集団発生事例で学んだこと」	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 毎月の感染対策委員会、感染制御部運営委員会合同委員会の開始前に、テーマを決めて委員による院内の視察を行い、評価、改善指導を行っている。・ 長期使用抗菌薬の定期的調査を行っている。	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 4 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">・ 年度初め 新規採用全職員に対して医薬品安全使用のための講習会の実施・ 年度初め 新入職看護師に対して医薬品の安全使用のための講習会の実施・ 年度初め (3回) 新規採用者に対して麻薬の管理と適切な使用についての講習会の実施・ 春と秋 看護師に対して注射薬の適切な取り扱いについて講習会の実施	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>院内で医薬品を安全に取り扱うための手順について適宜見直しを行い手順書の改訂を行っている。今年度は院内製剤の取り扱いについて改訂を行った。 手順書に基づく業務の実施状況については各病棟の薬剤師が実施状況をチェックし、医薬品安全管理責任者が確認し指導を行っている。 病棟以外の部門については定期的に巡視を行い、実施状況を確認している。</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容</p> <p>医薬品にかかわる情報の収集、管理、提供については薬剤部D Iセンターが担当している。D I担当者は必要に応じ、該当医薬品を使用している医師を特定し、迅速な情報提供と収集を行っている。さらに院内広報誌「D Iニュース」で院内の全職員に情報を伝えている。 D I担当者は病棟専任薬剤師と週に1回カンファレンスを行い情報収集と提供に努め、改善のための方策の実施状況についても病棟専任薬剤師が確認し、その状況をD I担当者に報告している。 病棟以外の部門については、各部門担当者が実施状況の確認を行っている。</p>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年4回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <p>新規導入機器について、それぞれ有効性・安全性についての事項、使用方法についての事項、保守点検に関する事項、不具合等が生じた場合の対応について実施した。</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の策定 (有) ・ 保守点検の主な内容： <p>主要な放射線関連機器に関してメンテナンス契約を行い年2~4回の保守点検を実施している。重粒子線治療装置については、治療停止期間縮小のため分散して保守点検を実施している。造影剤注入装置については、年1回の保守点検を行っている。流量・注入速度・注入圧など。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ オペ室管理区域について、適切な漏洩線量測定のため、ガラス線量計設置の調査を行い、ガラス線量計による漏洩線量測定を開始した。 ・ 光学診療部所有X線透視装置の運用について、医師、看護師に聞き取り調査を行い、X線透視装置の管理、運用に関し取決めを行った。 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回以上
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 医療機器の有効性・安全性に関する事項，医療機器の使用方法に関する事項，医療機器の保守点検に関する事項，医療機器の不具合等が発生した場合の対応等について，体外循環装置，血液浄化装置，人工呼吸器，除細動装置，閉鎖式保育器の機器について研修を行っています。 また，病棟から依頼のあった機器には別途病棟からの要望に沿った形で研修を行っています。 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の策定 (有) ・ 保守点検の主な内容： 体外循環装置，人工呼吸器，閉鎖式保育器は年一回メーカーに保守点検を依頼し，血液浄化装置，除細動装置は年一回技士が保守を行っています。 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 情報はPMDAから入手したり，機器担当業者から情報を入手します その情報は，ME機器管理運用委員会にて報告し，必要であれば医療安全管理部へ報告し院内職員へ周知しています。 	